

地域振興・機体活用プロジェクト“空恋”

鹿児島県曾於市

「ギリギリ鹿児島 そお市号」運航開始！

株式会社ソラシドエア(以下:ソラシドエア 本社:宮崎県宮崎市 代表取締役社長 高橋 宏輔)で取り組む地域振興・機体活用プロジェクト「空恋～空で街と恋をする～」におきまして 19 例目となる、鹿児島県曾於市の「ギリギリ鹿児島 そお市号」が、9 月 1 日(金)に初フライトを迎えました。

初フライト当日は、鹿児島空港において、就航記念セレモニーをソラシドエア 76 便(鹿児島発 12:20 羽田着 14:05)出発前に開催しました。運航機材は、ボーイング 737-800 機の JA811X 号機。



鹿児島県曾於市は、大隅半島の北部、宮崎県との県境に位置している自然豊かなまちです。

苔むす岩と清らかな川のせせらぎ、光差し込む豊かな木々が幻想的な「悠久の森」や、全国パワースポット百選にも認定された「溝ノ口洞穴」など、他にはないどこか神秘的な雰囲気を感じられる場所が数多くあり、知る人ぞ知る観光地となっています。また、鹿児島県内でも有数の「畜産のまち」と知られ、肉用牛、豚肉の生産は全国トップレベル。そのため、曾於市内でも焼肉やしゃぶしゃぶ、鶏刺しなど、様々な美味しい「肉料理」を堪能することができます。

機体のイメージキャラクターには、曾於市の公認キャラクター「そお星人」が描かれ、曾於市の魅力を「日本を股にかけて」PR することを表現したデザインが機体入口と後方に描かれています。「そお星人」は、プリッと可愛いお尻とピカピカ光るアンテナがチャームポイントで、はるかかなたにある「そお星」生まれ。好きな食べ物は曾於市の特産品で、特に自分に似ているソーセージ(そおせいじ)が大好きです。

機内シートポケットに曾於市の情報誌の設置や客室乗務員がそお星人が描かれたオリジナルのエプロンを着用し機内サービスを行うなど、ソラシドエアと曾於市は、これから約 1 年間共に曾於市の魅力を「日本を股にかけて」、全国のみなさまへ向け PR してまいります。

ソラシドエアの機体活用プロジェクト『空恋』は、地域振興を目的としています。1機体1自治体を基本に、機体側面に地名を表示すると共に、機内では各自治体独自の方法でPRしていただきます。

ソラシドエアでは、“空から笑顔の種をまく。”のブランドコンセプトのもと、今後とも「九州・沖縄の翼」としてより一層地域のみなさまとの絆を深め、九州・沖縄にはなくてはならないエアラインへと成長してまいります。



<ギリギリ鹿児島 その市号 イメージ>